

令和7年度
高知工業高等専門学校
ソーシャルデザイン工学科
入学案内



独立行政法人国立高等専門学校機構

高知工業高等専門学校

〒783-8508 高知県南国市物部乙200番1

TEL (088) 864-5644・5621

FAX (088) 864-5536

〔 学生課 総務・入試係 〕

ホームページアドレス<https://www.kochi-ct.ac.jp/>

1. 創 設

深く専門の学芸を教授し、技術者として必要な能力を養うため、昭和 37 年に高等専門学校制度が創設され、本校はこの制度により、昭和 38 年 4 月に設立された国立工業高等専門学校です。

2. 教 育 方 針

学生自らすすんで実践することによって、学問的・技術的力量を身につけ、徳性を養い、将来、創造力のある風格の高い人間・技術者として国際社会を主体的に生きることを目指させます。

3. 入学定員及び修業年限

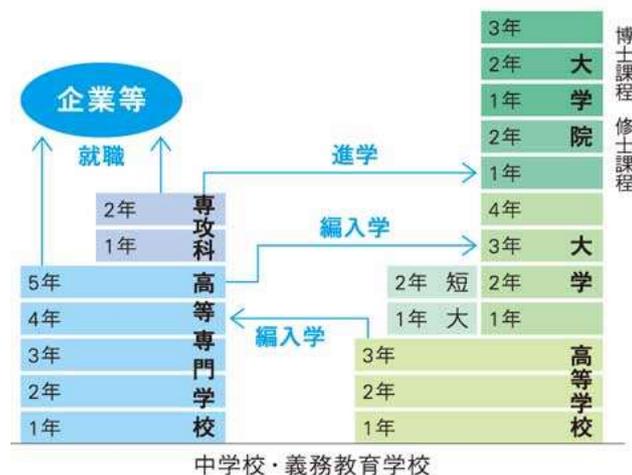
ソーシャルデザイン工学科(1学科5コース制)入学定員 160 名、修業年限は 5 年です。

4. ソーシャルデザイン工学科において養成する人材像

技術や情報が急速に高度化・多様化する現代のダイナミックな変化に即応できるよう、幅広い分野の知識・技術に触れ、自ら選択した特定領域の専門知識と他分野の知識を複合・融合できるハイブリッド型の知識・技術を備えた人材を育成します。また、倫理観と社会的責任感をもって主体的に行動でき、地域や世界が抱える課題を解決するための、判断力、実行力、チーム力などの人間力を備えた人材を育成します。

(学習・教育目標)

- (A) 倫理観と社会的責任感をもって行動できる
- (B) 幅広い知識・技術を融合・協働・相乗できる
- (C) 専門領域の知識・技術を修得し、地域社会に貢献できる
- (D) 国際適応力を備え、グローバルに活躍できる
- (E) 地域や世界が抱える課題解決のための創造力と技術力、チーム力が発揮できる



5. 各コースの概要（3年次からコース制）

【エネルギー・環境コース】

電気・電子システム技術の中心となる、生活を豊かにする情報通信技術とエレクトロニクス、生活を支える環境に優しい電気エネルギー技術やその環境技術を幅広く学び、高度情報化社会を支えるハードウェア、ソフトウェアからシステムまでをデザインできる実践的な技術を修得し、これからの社会をリードする電気・電子・情報通信システム関連産業及びエネルギー関連産業を担う人材を育成します。

【ロボティクスコース】

介護や福祉、災害救助をはじめ、医療・福祉・農業・食品加工分野など社会で実際に活用・実装が期待されているロボットテクノロジーについて幅広い知識を身に付けるとともに、基幹産業として今後の発展が期待されているロボット関連産業を担い、地域社会でこれらの産業を育成できる幅広い知識と技術を持ち、人々の社会生活をデザインできる人材を育成します。

【情報セキュリティコース】

高度情報化社会で重要となる情報関連技術について、基礎から応用まで幅広い知識を身に付けるとともに、情報通信、ネットワーク、ハードウェアを含めたコンピュータシステム、特に情報セキュリティに関する知識と実践的な技術を修得し、人々の健全で、安心・安全な暮らしと豊かな社会をデザインするとともに、その実現に貢献できる専門的・学際的な人材を育成します。

【まちづくり・防災コース】

土木・建築を主とした幅広い専門知識を融合し、社会基盤としての「まちづくり・住まいづくり」ができ、また地震・洪水などの自然災害から人々の暮らしを守る防災技術を持ち、防災関連産業の振興や防災関連技術の発展に寄与でき、地球全体を視野に入れた環境を総合的にデザインできる人材を育成します。

【新素材・生命コース】

化学や生物学の基礎から応用までの幅広い知識をもとに、化学工業・環境・情報通信・精密機器分野などで利用されている高機能材料並びに医薬品製造・食品産業・環境分野などで生物の機能を活かす生命科学に関する知識と実践的な技術を修得し、地域社会からグローバル社会において、これからの未来を支える新素材及び生命科学関連産業の担い手になるべく、人類に有益なモノをデザインできる人材を育成します。



6. 学寮(切正寮)^{せつせいりょう}

本校の学寮(切正寮)は、規律ある共同生活を通じて、深い友情を育み、豊かな人格の形成に励むことを目標としています。

1年生で入寮を希望する者は、選考の上で原則全員入寮を許可しています。また、2年生以上の学生は入寮希望者の中から選考により入寮を許可しています。



7. 必要な諸経費

◎入学時の諸経費(令和6年度の実績のため改定する場合があります)

区 分	金 額	備 考
入学料	84,600 円	入学時のみ
授業料	117,300 円	年額 234,600 円の前期分(※1) ※高等学校等就学支援金は含んでいません。
日本スポーツ振興センター費	1,945 円	年 1 回 (災害共済給付制度)
教科書・教材費	約 45,000 円	
制服費	約 55,000 円	平成 28 年度入学生から男女共に制服を一新しています。
服装費	約 45,000 円	運動服・運動靴・実習服等
その他経費	47,000 円	学生会費・後援会費
合 計	約 395,845 円	

(※1)在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

◎学寮の経費(令和6年度の実績のため改定する場合があります)

区 分	金 額	備 考
入寮費	2,600 円	入寮時のみ
寄宿料	年額 8,400 円	月額 700 円 (前期分 4,200 円を 4 月納付、後期分は 10 月納付)
寮 費	年額 72,000 円	月額 6,000 円 (前期分 36,000 円を 4 月納付、後期分は 10 月納付)
食 費	月額約 36,000 円	1,154 円/日 (委託業者に毎月納付)

(注)人件費及び光熱費高騰のため寮費及び食費は見直しが行われる予定です。

8. 奨 学 金

次の「(1)」及び「(2)」の奨学金制度があります。このほか、市町村の奨学金を受けている学生もいます。

(1) 日本学生支援機構奨学金について

学業、人物ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難と認められる学生については、選考のうえ貸与奨学金(返還義務がある奨学金)を受けることができます。

また、4年生以上を対象とした給付奨学金制度(原則として返還義務のない奨学金)があり、定められた要件と基準を満たす場合に支給を受けることができます。

原則、毎年春及び秋に募集を行います。

貸与奨学金の月額(令和6年度)

種 類	対 象	月 額		備 考
		自宅通学	自宅外通学	
第一種 (無利子)	1～3年生	21,000円 10,000円 のいずれか選択	22,500円 10,000円 のいずれか選択	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年生時に申込をする場合 1～3年生時の月額と4年生に進級後の月額を選択します。 ・自宅外通学生は、自宅通学の月額も選択可能です。 ・最高月額は、奨学金申込時の家計支持者の収入が一定額以上の場合、利用することができません。
	4・5年生 専攻科生	<u>45,000円</u> 30,000円 20,000円 のいずれか選択	<u>51,000円</u> 40,000円 30,000円 20,000円 のいずれか選択	
第二種 (有利子)	4・5年生 専攻科生	20,000円～120,000円 (10,000円単位で選択)		

給付奨学金の月額(令和6年度)

対 象	世帯の所得金額 に基づく区分	月 額		備 考
		自宅通学	自宅外通学	
4・5年生 専攻科生	第Ⅰ区分 (非課税世帯)	17,500円 (25,800円)	34,200円	カッコ内の金額は、生活保護世帯及び児童養護施設等からの通学者が対象となります。
	第Ⅱ区分 (準非課税世帯)	11,700円 (17,200円)	22,800円	
	第Ⅲ区分 (準非課税世帯)	5,900円 (8,600円)	11,400円	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	4,400円 (6,500円)	8,600円	

(注)家計が急変した場合は、緊急採用(貸与)・家計急変採用(給付)制度があります。

(2) 高知県高等学校等奨学金について(保護者が高知県内に居住している方対象)

高知県教育委員会より、高等学校・高等専門学校への進学・修学を希望しながら、経済的な理由で修学が困難な方に対し、選考のうえ奨学金が貸与されます。

原則、毎年春に募集を行います。

【貸与月額 (令和6年度)】

区 分	金 額	備 考
国公立	18,000 円又は 23,000 円	中学校在学中に申請して内定者となると、本校入学後採用となります。(無利子)

(注) ただし条例により、日本学生支援機構又は母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金その他国もしくは県からの奨学金等の貸与を受けている方は、この奨学金は貸与されません。(詳細は県の条例参照)

※保護者が高知県外在住の場合は、お住いの都道府県にご確認、ご相談ください。

9. 入学料・寄宿料の免除

(1) 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(学資負担者)が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

(2) 学資負担者が死亡した場合又は風水害等による災害を受け、納付困難と認められた場合には寄宿料を免除することがあります。

10. 高等学校等就学支援金制度

国公私を問わず、高等学校等の授業料の支援として一定の収入額(年収 910 万円程度)未満の世帯の生徒に対し、国の費用により就学支援金が支給される制度です。

本制度により本校の1～3年生(通算 36 ヶ月)の学生が受ける支給額は、月額 9,900 円(年額 118,800 円)です。但し、保護者の所得に応じて、就学支援金の加算または未支給となることがあります。

11. 自立応援入学支援金制度

この制度は、ジー・オー・ピー株式会社による寄附金を財源に、地元や親元を遠く離れ、高専生活を通じ、見知らぬ土地で新たな知見を得ようとする志の高い新入生が、経済的理由によりその目標を諦めることのないように入学金相当額を給付し、応援する制度です。

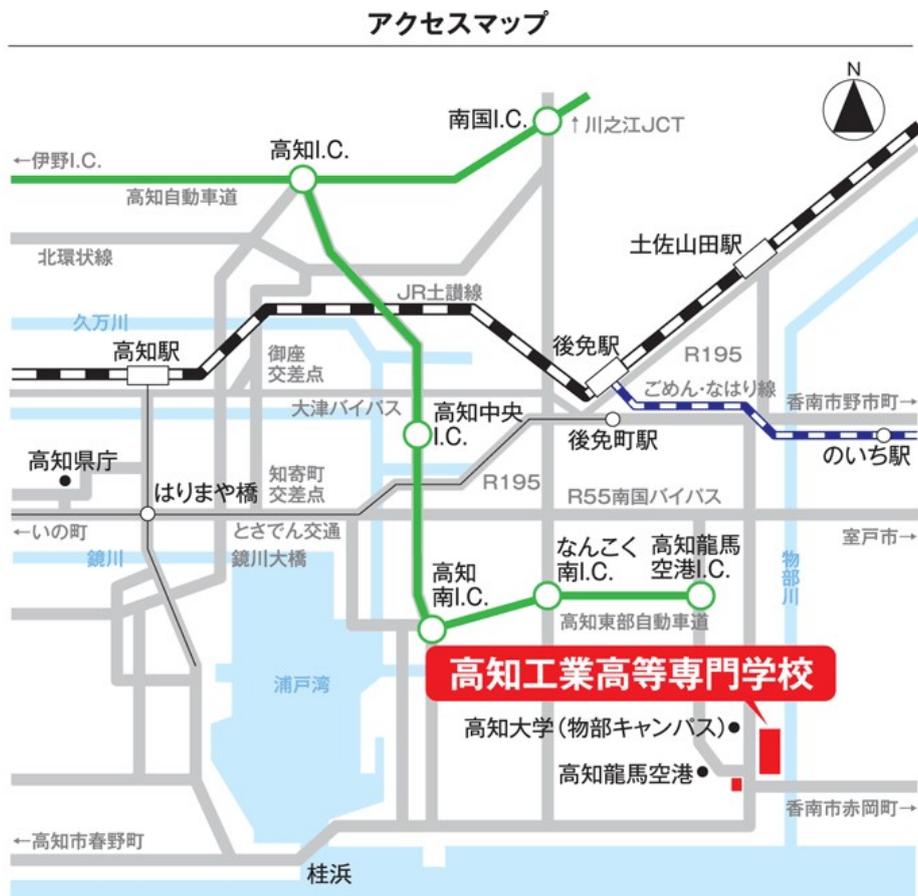
詳細については、11 月頃に本校ホームページへ掲載予定ですので、ご確認ください。

なお、昨年度の申請締切は、下記のとおりです。

【参考】

- ・推薦による選抜：令和5年12月19日(出願書類受付締切日)
- ・学力による選抜：令和6年1月30日(出願書類受付締切日)
- ・帰国生徒特別選抜：令和6年1月30日(出願書類受付締切日)

12. アクセス



本校までのアクセス

● 高知龍馬空港連絡バス

JR高知駅前 ≫ 高知龍馬空港 所要時間 約25分

JR高知駅前-高知龍馬空港(約25分) 空港から高知高専まで徒歩約10分

※「高専前」に停車する場合がありますので、乗車時に御確認下さい。

● タクシー

J R 後 免 駅 ≫ 高 知 高 専 所要時間 約15分

とさでん交通後免町駅 ≫ 高 知 高 専 所要時間 約15分

ごめん・なはり線のいち駅 ≫ 高 知 高 専 所要時間 約10分

13. 教育課程

授業科目は、一般科目と専門科目に分かれており、以下のとおりの予定です。

授業科目	一般科目	専門科目				
	日本語表現基礎 日本語表現 文章表現 現代社会 社会科学Ⅰ 社会科学Ⅱ 地域学 科学技術と倫理 産業論 基礎数学ⅠA 基礎数学ⅠB 基礎数学ⅡA 基礎数学ⅡB 微分積分ⅠA 微分積分ⅠB 線形代数A 線形代数B 工業基礎数学A 工業基礎数学B 微分積分Ⅱ 数学活用 物理Ⅰ 化学ⅠA 化学ⅠB 物理Ⅱ 化学Ⅱ 総合理科 生物 物理Ⅲ 保健・体育ⅠA 保健・体育ⅠB 保健・体育Ⅱ 保健・体育Ⅲ 保健・体育Ⅳ 音楽 美術 基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠB 英語表現Ⅰ 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語表現Ⅱ 基礎英語ⅢA 基礎英語ⅢB 英語表現Ⅲ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	コース専門科目				
		エネルギー・環境コース	ロボティクスコース	情報セキュリティコース	まちづくり・防災コース	新素材・生命コース
	物理実験 応用物理Ⅰ 電気回路Ⅰ 電磁気学Ⅰ プログラミング 環境化学 工学実験Ⅰ 電気製図 デジタル回路 電子回路Ⅰ 応用数学 工業数学 数学演習 テクニカルライティングⅠ 電気回路Ⅱ 電磁気学Ⅱ 電子回路Ⅱ 制御工学 電気機器 工学実験Ⅱ 電気電子システムセミナー 情報通信工学 エネルギー資源 生産工学 テクニカルライティングⅡ エネルギー変換 パワーエレクトロニクス エネルギーシステム 通信工学 センサ工学 電子デバイス 工学実験Ⅲ 卒業研究	物理実験 応用物理Ⅰ 電気回路Ⅰ 電子回路Ⅰ プログラミング 機械材料 ロボット工学概論 材料力学Ⅰ 工作実習 機械デザインⅠ 製図・CAD 計測工学 工作法 応用数学 工業数学 数学演習 テクニカルライティングⅠ 材料力学Ⅱ 材料力学Ⅲ 機械デザインⅡ 流れ学Ⅰ 熱力学Ⅰ ロボット工学Ⅰ ロボット工学Ⅱ 電子回路Ⅱ ロボティクスセミナー ロボット工学実験Ⅰ 機械力学Ⅰ 数値計算法 ライフエンジニアリング テクニカルライティングⅡ 生産システム工学 機械力学Ⅱ 知能システムデザインⅠ 知能システムデザインⅡ 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボットデザイン ロボット工学実験Ⅱ 卒業研究	物理実験 応用物理Ⅰ 確率・統計解析 コンピュータネットワークⅠ プログラミングⅠ プログラミングⅡ 情報代数 離散数学 アルゴリズムとデータ構造 情報セキュリティと法制度 情報回路 情報工学実験Ⅰ 暗号理論 コンピュータネットワークⅡ グラフとオートマトン 応用数学 テクニカルライティングⅠ アセンブリⅠ コンパイラ ソフトウェア工学 データ解析 オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ データベースシステム 情報工学実験Ⅱ 情報セキュリティセミナー 符号理論 アセンブリⅡ 数値計算法Ⅱ テクニカルライティングⅡ ネットワークセキュリティ ネットワーク運用リテラシー マシンビジョン 画像処理 ソフトウェアセキュリティ 組み込みシステム ハードウェアセキュリティ 情報工学実験Ⅲ 卒業研究	物理実験 応用物理Ⅰ まちづくり・防災概論 建設材料論 構造力学Ⅰ 測量学 地盤工学Ⅰ 自然・都市災害論 設計製図Ⅰ 土木・建築実験Iおよび測量実習 水理学Ⅰ 建築歴史 建築計画Ⅰ プログラミングⅠ 水環境工学Ⅰ 応用数学 テクニカルライティングⅠ 構造力学Ⅱ 地盤工学Ⅱ 防災工学Ⅰ 防災工学Ⅱ 設計製図Ⅱ まちづくり防災創造演習 コンクリート構造学Ⅰ テクニカルライティングⅡ 都市計画Ⅰ 都市計画Ⅱ プログラミングⅡ コンクリート構造学Ⅱ 施工管理学 防災工学Ⅲ 土木・建築実験 卒業研究	物理実験 無機化学Ⅰ 分析化学 有機化学Ⅰ 物理化学Ⅰ 生化学Ⅰ 材料学概論 情報化学基礎Ⅰ 化学実験序論 分析化学実験 有機化学・無機化学実験 応用数学 テクニカルライティングⅠ 機器分析 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 物理化学Ⅱ 反応速度論 化学工学Ⅰ 分子生物学 情報化学基礎Ⅱ 材料化学 微生物学 機器分析・生命科学実験 物理化学・化学工学実験 テクニカルライティングⅡ 有機化学Ⅲ 物理化学Ⅲ 化学工学Ⅱ 高分子材料化学 無機材料学 環境工学 材料生命工学実験Ⅰ 材料生命工学実験Ⅱ 卒業研究	
	共通専門科目					
	情報処理 有機無機化学基礎	デザイン工学演習Ⅰ プログラミング基礎	ソーシャルデザイン入門 デザイン工学演習Ⅱ	力学基礎 ソーシャルデザイン基礎	電気基礎 地域協働演習	
	選択科目					
哲学 経済学 法学 キャリアと生活デザイン ドイツ語 中国語	計測工学 応用物理ⅡA 応用物理ⅡB 化学工学 校外実習 環境マネジメント 材料学概論 ロボット工学概論 情報セキュリティと法制度 熱・流体工学 環境工学 先端エネルギー概論 半導体材料 応用情報処理	応用物理ⅡA 応用物理ⅡB 流れ学Ⅱ 熱力学Ⅱ 電気回路Ⅱ 校外実習 電気電子工学 材料学概論 環境マネジメント 情報セキュリティと法制度 エネルギー工学	数学演習A 応用物理ⅡA 応用物理ⅡB 線形回路 校外実習 生体信号処理 論理学Ⅰ 論理学Ⅱ 電気電子工学 ロボット工学概論 環境マネジメント 材料学概論 情報セキュリティマネジメント ハイパフォーマンスコンピューティング モバイルプログラミング	数学演習A 応用物理ⅡA 応用物理ⅡB 校外実習 水理学Ⅱ 水環境工学Ⅱ 建築環境工学 建築一般構造 建築計画Ⅱ ロボット工学概論 電気電子工学 情報セキュリティと法制度 材料学概論 交通インフラ工学 河川工学 建築設備 建築構造計画 建築施工及び建築法規 建築設計製図 土木設計製図	数学演習A 応用物理A 応用物理B 生化学Ⅱ 校外実習 ロボット工学概論 電気電子工学 情報セキュリティと法制度 金属材料学 機能性材料 エネルギー工学 遺伝子工学 酵素工学	